議会だより あまぎ

令和３年
12月定例会

令和４年１月25日
第 122 号

目　次

● 天城町議会議長新年のご挨拶 …………………………………… Ｐ２
● 一般質問 …………………………………………………………… Ｐ３
● 令和３年 12 月定例会／編集後記 ……………………………… Ｐ 12

天城町議会議長新年のご挨拶

柏井 洋一 議長

町民の皆様方には、令和４年の輝かしい新春を健やかにお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

日頃から、議会活動に対しまして、格別のご理解とご協力を賜り心からお礼申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症によって町民の生活や社会経済活動がかつて経験したことのない甚大な影響を受けました。様々な困難の中、感染防止対策にご協力を頂いた町民の皆さま、医療従事者の皆さま、事業者の皆さまに、心から感謝と敬意を表する次第であります。

令和３年７月26日には、「奄美大島、徳之島、沖縄島北部および西表島」の世界自然遺産登録なされ、住民一人一人が自然環境に対する意識変化の対応が求められ、観光利用の適正な管理、利用者のマナー向上、保全活動の活発化など、一人ひとりの意識や関わり方が重要となりますので、官民一体となり取り組んで行けるよう議会としても活動して参ります。

全国各地で少子化の進行及び地方の人口減少と衰退が大きな社会問題となっており、今日、地方創生が強く叫ばれている中、子育て対策の充実や、農業の担い手づくりなど、様々な施策が展開されております。

我が町におきましても人口減少は大きな課題であり、地域の担い手を失う深刻な問題であります。

町議会といたしましても、移住・定住施策や人材育成の充実に、より一層切磋琢磨し、取り組んでいく所存であります。

さらに、私ども議会といたしましても町民の皆様の声を真摯に受け止め、さまざまな町政の課題解決に向けて全力を尽くし邁進していく所存でございますので、なお一層のご支援、ご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

結びに、本年はコロナが終息し、町民の皆様方にとって輝かしい良き一年となりますよう、ご祈念申し上げまして、新年のご挨拶と致します。

天城町議会　議長　柏井　洋一

令和４年消防出初め式

一般質問

奥　好生 議員

安定した雇用の創出について

問　農業・水産業の発展による経済の活性化及び所得の向上について。

答　けん引式中耕機スクープの助成については、今年度は申し込み件数8件に対して4件に補助金を出した。二分の一の補助で上限20万円である。令和4年度は多くの農家に助成できるように対応していく。

瀬滝地区の農道舗装については、瀬滝県道西側の畑総完了地区内の農道6路線総延長4・6㎞を令和5年度からの実施に向けて計画を進めている。

水産業については、6次産業化施設を整備し、漁業者の就労意欲を高め所得向上に繋げていく。

問　新たな事業創出と観光産業の振興について。

答　6次産業化施設を整備し、新たな雇用の確保に努める。

既存の観光資源を磨き上げながら、体験メニューの開発等を行い観光振興に努める。

平土野地区の活性化には、力を入れていきたい。ポケット公園のバリアフリー化については、企画財政課・商工水産観光課・建設課を交えて具体化に向けた作業を進めていく。その中でどのような問題があるかなどを浮き彫りにしていく。

健康・妊娠・子育て・教育の希望をかなえる施策について

問　子どもから高齢者までみんなが健康の町について。

答　保険者努力支援制度交付金として、令和2年度3百83万7千円が交付された。今後も、事業所や各種団体と協力して特定検診の受診率の向上に努めていく。

出生祝い金、学校給食費の無償化については、令和4年度実施の方向で検討している。

問　将来の天城町を託せる人材の教育について。

答　令和4年度以降の学力向上に向けた対策として、漢検だけでも小中学校の学年を絞って、学校の中で全員が受けられないか、学校と協議をしながら検討している。

令和3年5月に実施した全国学力学習調査における本町の結果と今後の課題や対処すべき対策等を、来年1月号の広報誌に掲載し、町民と共に課題等を共有し本町の学力向上に努めていく。

時代に合った地域をつくり、安心したくらしを守る施策について

問　町民が安心して暮らせる環境の確保について。

答　兼久小学校グラウンド西側の急傾斜地については、危険な状態だと認識している。それなりの対応をしないといけないと考えている。

当部集落に建設予定の木造住宅（一棟2戸）については、1月に設計完成、2月に入札、5月か6月には完成の予定である。

大吉皓一郎 議員

創生天城について

問 世界自然遺産登録がされ、きゃら島・きゅら海にする為どのような対策をしていくのか（道路美化・赤土汚染・牛舎のし尿・生活排水等）。

答 世界自然遺産とはどの国も、いつの時代のどの世代の人でも同じように素晴らしいと感じる宝物。人類共通の財産として大切に守り未来へ受け継いでゆかなければならない。官民連携を密にし第3日曜日のクリーン作戦や花いっぱいフラワーロード運動の活動協力を促し道路美化対策強化に努める。

　ロードキルも含めて（前野子ども会がオリジナル看板作成・アニマルネットの設置作業体験）新聞の若い目に小学4年生が投稿して話題になっている。自分たちのふるさとに誇りをもって大人と一緒に支えていこうという声も。

　赤土汚染については、ＡＹＴや広報誌による啓発活動を行いながら畦畔への植栽、ほ場内へのハカマブロックの設置の指導を行っている。

　牛舎のし尿・家畜ふん尿処理は、管理基準に基づき牛の10頭以上は堆肥舎等の設置が決められている。なかなか進んでいない。

　農家個々にコンクリートを敷き、ブルーシートを被せることになっている。

　牧草の落下防止の網の補助金ついては検討していく。環境と共存して行けるよう指導していく。

　生活排水等については、令和2年から6年循環型社会推進交付金を活用し小型合併処理浄化槽の設置を推進している。

問 「釣り文化振興モデル港」の指定申請について、その後の取り組みについて。

答 本議会の中で何回か議論がされてきた。磯釣り・船釣りをキーワードにした観光振興は大切な資源である。

　「釣り文化振興モデル港」に関心をもっているので情報を収集して、平土野港利用促進協議会と連携して縄ばしご浮輪等の設置を進めていく。

問 平土野地域活性化について。

答 国土交通省の地方応援隊が平土野商店街を視察し商店街や平土野港、空港からのアクセスなど状況を共有した。

　活性化エリアを拡大した。補助金も50万から100万円にした。役場下から公園までカラー舗装の意見が出た。海岸の水質検査を令和4年実施する。

　中心地に駐車場を設置していく（敷地は個人が無償提供）。

　景観整備や空き店舗等を活用した拠点施設整備、平土野アートプロジェクトの支援などに取り組んでいく。

建設行政について

問 県道83号線（伊仙天城線）改良と真瀬名橋の架け替えについて県とどのような協議をしているのか。

答 令和2年度より改良事業が着手されている。測量調査を実施。

　3年度は、用地の調査及び真瀬名橋の詳細設計を実施、4年度以降は地元説明会・用地買収を計画している。用地取得が出来たら工事にとりかかる予定。

　町として「協力できるとこ

真瀬名橋

ろは全力で取りかかる」と県の方に伝えてある。

天中校門前の道路は非常に危険であるので県へ要望する。

問 県道80号線（伊仙亀津徳之島空港線）の改良と町道阿布木名線の交換はどのようになっているか。

答 ５月11日県知事・７月12日金子代議士・７月14日大島支庁に県道83号線と併せて一緒にできないか要望している。

阿布木名線道路敷地内に残っている名義変更の手続きがあと一筆となっている。（書類はすでに都会に送付してある。）登記完了後、速やかに機能交換協議に入っていく。

問 天城尻田線改良の進捗状況と今後の対策について。

答 尻田線改良については、AMAGI－VISIONに計画をのせた。筆界未定の土地が多数残っており、地域の方と協議し当該地権者に協力をお願いし事業に移っていく。

問 町道の管理について。

答 岡前区長宅から北中まで路面が非常に悪いことは知っている。レミファルト補修していく。

岡前・前野線、天城当山２号線についても状態が悪いので維持補修していく。

兼久寺田線の側溝の底板については調査し維持管理に努める。

教育行政について

問 教育委員会の各施設・各種事業は適正に運営されているか。

答 平年県体・大島地区大会空手道大会が本町で行われるのでスポーツ少年団部員数も多く、大会運営もスムーズ、又観客にもわかりやすくするため、得点デジタルタイマーを当初予算で計上する。がんばる子供たちに支援していきたい。

天城中のナイター照明は水銀灯に変える。天城小・岡前小も冬場は、暗いので学校開放の観点からつけていく。

図書館の２階各部屋、お話しコーナーなど改善していく岡本文庫については説明をつけたり写真を貼ったり整理する。町民が使いやすいようにする。

喜入伊佐男 議員

あまぎ自然と伝統文化体験館について

問 入場人数を３千人以内で設計するのか。天城町独自のカラーを持った施設等について。また、完成してからのP

Rをどうお考えなのか。

答 あまぎ自然と伝統文化体験館整備事業につきましては、奄美群島成長戦略推進交付金事業を活用し現在、基本・実施設計を行っている。

　収容人数は３千人を想定した設計を行っており、自然や伝統文化を体験できるだけではなく隣接した総合運動公園や山猪工房、今後完成予定の水産拠点施設と連携し、一体的に利用出来る施設を目指します。

　立地条件を活かした活用方法を関係団体と連携し、一体的に利用し徳之島観光の拠点施設となるようなＰＲを行っていく。

津波対策について

問 松原集落（宝土地区）の海側の堤防のかさ上げについて。

答 ご指摘の防波堤（堤防）は高さが低く、津波や高潮の際は、危険度が高まることが想定され、これまでもご指摘があった。

　国が打ち出している地方自治体の国土強靭化や防災・減災対策への補助など、自治体から要望できる事業はないか今後も調査し検討していく。

昇　健児 議員

町有地の有効活用について

問 前野住宅横がしばらく空き地となっているが、住宅建設をできないか。

答 住宅問題につきましては、幾度となく議題にあがっており、重要な課題だと認識してます。

　ご質問の町有地につきましては、現在、見直し策定中の長寿命化計画の中で建替えと新規建設のバランスをとりながら計画の前倒しも含め検討します。

問 大和城のバンガロー建設地東側の既存建物と余剰地についてはどの様な活用を考えているのか。

答 大和城バンガロー建設地の東側の既存建物につきましては、リニューアルし、トイレや休憩所として再利用を計画してます。

　そして、残りの余剰地につきましては、グランドゴルフ等が行える広場を長期的に整備する計画で、人と自然が共生する癒やしの観光地づくりを進めます。

大和城バンガロー建物地東側の既存建物

　バンガロー建設については、令和３年度以降バリアフリー対応の棟を２戸整備する。

環境整備について

問 県道の歩道路面を平坦にする改良事業は計画されていないか。又、要望できないか。

答 県に問い合わせましたところ、現在、県道の歩道を平

担にする事業はありません。

歩行者や最近普及してきました高齢者のシニアカーの通行の安全確保は大事なことだと感じています。今後、要望をして行きます。

問 岡前小学校校舎前のガジュマルが腐食して危険な状況と思えるが、早期の伐採、除去はできないか。

答 施設管理等につきましては、学校からの要望等を基にその都度施設の確認を行い、特に安全面第一に考慮しながら補修を行っています。

岡前小学校校舎前のガジュマルに関しましても、過去には樹木医へ依頼し対応した経緯もあります。今後は、安全面を考慮し、伐採・除去等を検討します。

平岡 寛次 議員

福祉行政について

問 高齢者保健福祉計画について。

答 天城町高齢者福祉計画及び第8期介護保険事業計画を令和3年3月に策定した。

計画の期間は令和3年度から令和5年度の3ヶ年となっています。健康で生きがいをもって、すこやかに暮らせるまちづくり。地域全体で支えあう、心ふれあうまちづくり。高齢者の安心・快適な暮らしの確保。

三点を基本方針に、高齢者の皆さんが住み慣れた地域で、その有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができるよう取り組む。

問 買い物弱者対策について。

答 買い物弱者対策につきましては、生活支援体制整備事業や高齢者地域支え合いグループポイント事業による買い物支援、小売店による商品配達サービスなどがあり、住み慣れた地域で少しでも長く自立した生活が過ごせるよう、今後も取り組みます。

農政について

問 インボイス制度について。

答 インボイス制度は、消費税に関する新しい制度で、令和5年10月1日から導入されます。

卸売市場や農協、漁協などが生産者から販売の委託を受けて行う農林水産品の販売はインボイスの発行を行う必要が無いとされていますが、個人間や民間事業者と農林水産品の取引を行う場合は、税務署への登録が必要となりますので、制度の情報を収集し、周知を進めていきます。

商工行政について

問 台風期における物流について。

答 台風等の影響で離島であるがゆえ、船舶の欠航が続くと食料品や生活必需品などの物流が止まり、島民の方々には不便をきたしております。

その際、船舶の欠航等の情報を船会社と連携を図り、早々に情報収集を行いながら商工会を通じて商工業者に情報提供できるように努めます。

本町においては小規模事業所がほとんどで欠航前に大量の商品を保管しておくことは難しいということも踏まえて、最善な方策を商工会等、関係者とともに考えていきたい。

秋田 浩平 議員

農政について

問 畑作物について。

答 今期のさとうきびは台風の襲来もなく好条件であったにもかかわらず、生産量見込は6万4千1百トンと、前年度実績より約3千トン（3,293ｔ）減と見込まれます。

引き続き品質及び生産の向上が図られるよう関係各所と連携し、支援していきたいと考えています。

問 イノシシの問題について。

答 イノシシによる農作物被害は昨年より減少傾向にあるものの依然として深刻な状況です。イノシシ侵入防止柵の点検を実施しました。

今後集落と話し合いながら補修を行っていく必要があると考えています。

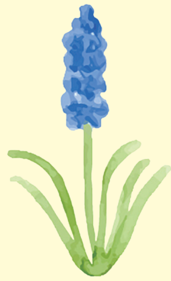
電気柵、アニマルネット等の資材購入費や狩猟免許取得に対する補助などは継続して実施します。

あまぎ自然と伝統文化体験館整備事業について

問 進捗状況と運用計画について。

答 あまぎ自然と伝統文化体験館整備事業につきましては、奄美群島成長戦略推進交付金事業を活用し基本・実施設計を行っているところです。

運用につきましては、施設管理は町としますが、直売所コーナーについては、今現在関係課と協議を進めているところです。



6次産業化整備事業について

問 やっちゃえいとまんの運用計画について。

答 やっちゃえいとまん6次産業化施設整備事業につきましては、現在発注をしたところです。

運用につきましては、指定管理者制度も視野に入れ、安心・安全な水産業の6次産業化を推進し、地魚の普及、雇用の確保、漁業者の所得向上に繋がるよう取り組みます。

教育行政について

問 各学校施設及び学校給食センターについて。

答 本町の学校施設の中には、建築から長い年数が経過し、建物や設備の老朽化により、改修が必要な施設があると認識しています。

令和3年3月に策定しました天城町学校施設等長寿命化計画に基づき、施設整備を進めて行きます。

学校給食センターにつきましては、現在、「天城町学校給食センター建設検討委員

学校給食センター

会」を4回開催し、建設候補地の検討を終え、地権者との話し合いに入っています。

問 山海留学について。

答 令和3年度については、家族型で5家族10名・孫型で3名、合計13名の児童生徒を受け入れ、事業を実施しております。

今後も山海留学制度実施委員会及び推進協議会と連携を図りこの制度に取り組みます。

ふるさと創生について

問 移住、定住の現状について。

答 移住実績は令和2年度、95世帯127人。令和3年度、12月1日時点で96世帯116名です。

そのうち、ふるさと創生室の相談窓口を経て移住した方が、昨年度が3世帯4人、本年度現在まで8世帯14人です。

今年度もコロナの影響を受け行動が制限されましたが、関東・関西地区の移住相談会への参加、オンライン移住相談会の開催、SNSを活用した情報発信など行って来ました。今後も支援内容の拡充などを検討しながら取り組みます。

問 空き家対策について。

答 町内の空き家は、調査の結果281件確認されました。

管理不十分な空き家23件については所有者等へ指導書又は適正管理のお願い文書を発送した。その後、4件の除却を確認した。

空き家の活用については、昨年度は14件の空き家バンクの登録、6件の空き家改修事業が実施された。本年度は10件の空き家バンク登録、9件の空き家改修事業を見込んでいる。

上岡 義茂 議員

建設行政について

問 町道、農道、水路等の管理について。

答 町道の管理につきましては、随時現場を確認しながら危険箇所の解消に努めている。今後とも、各集落区長などと連携しながら、町道維持管理に努めます。

農道・水路等の管理につきましては、多面的機能支払交付金事業で対応しています。

農道・水路等の整備につきましても、基盤整備促進事業や通作条件整備事業を活用しながら計画的に整備を行う。

問 集落内の幅員のない道路の改良計画はないか、伺いたい。

答 幅員の狭い道路は、災害時に消防活動等に支障を生ずるなど、安全面で大きな課題があります。

町内の各集落内にはそのような狭隘（きょうあい）道路がまだ数多く残っており、これまで道路愛護の観点から道路に面した土地を提供していただきコンクリート

天城町内の幅員の狭い道路

舗装をする際に幅員の拡張を進めてきた。

今後も集落からの要望や土地の提供などがありましたら順次進めていく。

天城町内の幅員の狭い道路

松山善太郎 議員

長期計画について

問 **学校施設・町営住宅、長寿命化計画等について聞きたい。**

答 学校施設長寿命化計画を、学校施設、給食センター、教員住宅等の建物劣化診断等を行い、令和3年3月に策定しました。来年度以降、建築経過年数、劣化状況、安全面等を総合的に検討しながら整備を行ってまいります。

公営住宅長寿命化計画については、令和4年度から13年度までの10ヶ年計画の見直し業務を行っております。今年度までの計画を優先的に10年後までの住宅戸数の設定や、各年度毎の建築戸数等を定めてまいります。

給与の是正について

問 **会計年度職員の支給方法は適当か。**

答 本町ではパートタイム会計年度職員任用制を採用しており、給与条例及び規則に基づき日額で支給を行っております。事務改善及び同一労働・同一賃金の原則に基づき正規職員との均衡を図るよう見直しを進めてまいります。

問 **期末手当の割増支給は適正か。**

答 期末手当における加算割合につきましては、法律及び条例等に基づき、行政職の職務の給が3級以上に対し行っている。

給与月額に課長級は100分の10、主任から課長補佐までは100分の5を乗じた額を期末手当の基礎額として、支給を行っている。〔3級以上79名〕

特別職・議員については、期末手当の割合も3・1（職員は2・4）になっており、両方の割増分が500万を超えている。職員は人数も多く、もっと多額になっている。

コロナ終息後の対応について

問 **各種行事、飲食を伴う懇親会等の実施について見解を問う。**

答 徳之島新型コロナ警戒レベルが11月1日から〔1〕となり、飲食における「少人数・短時間」の要請の解除など、感染症対策にかかる規制が大幅に緩和されています。マスク着用や三密の回避など基本的な予防対策を取り入れた忘年会、成人式、消防出初め式等の実施を考えています。

農政について

問　9月議会以降の取り組みと見通し（内容）について聞きたい。

答　農業ビジョンについて、9月議会以降、各部会との打合せを2回、5年後を見据えた目標生産額の打合せを1回持ち、11月17日に策定委員会を開催した。

策定委員会での意見を踏まえ、今月中に再度策定委員会を計画し、年内にお示しできればと考えている。

久田　高志　議員

農政について

問　死亡獣畜処理施設稼働に伴う対応について農家支援策はどのような計画になったか。

答　令和3年第3回定例会において、農家支援として死亡牛1頭につき一律1万円の助成を検討し、予算補正の承認をいただいた。

その後農家から助成金の拡充要望等があり、関係機関と協議を重ね、死亡牛1頭につき0～3ケ月齢に対し1万円、4～11ケ月齢に対し2万円、12ケ月齢以上に対し3万円の焼却処理料助成を行う。

建設行政について

問　町有地、町道の管理について適正になされているか。

答　町有地の管理につきましては、天城町公有財産管理規則第11条（公有財産の管理）に基づき、公有財産の適正かつ維持管理に努めている。

町道の管理につきましては、随時現場を確認しながら危険箇所の解消に努めている所です。今後とも、各集落区長などと連携しながら、町道維持管理に努めます。

問　町営住宅家賃の基準額、見直し時期、通達時期等はどのようになっているか。

答　町営住宅家賃は、公営住宅法の算定式に基づいて個々の団地の家賃が決められている。

見直し時期につきましては、10月に算定率の変更を行ったのち、町営住宅収入申告書を期限内に提出いただいた入居者分の家賃算定を行い、その後、12月から1月までに1回目の認定通知書を通達している。

問　徳之島空港北側道路の解放についてどのような協議がなされているか。

答　過去、数回空港駐車場が冠水する事象があり、『緊急時に現在閉鎖されている空港北側の道路を開放して通れるようにしては』との意見も議会からでている。

県においては、非常時・緊急時に北側道路を開放し使用することについては、『問題ない』との見解ですので、駐車場の冠水等が予想される場合は空港管理事務所職員により速やかにその道路を開放するなど危機管理対策を進めていきます。

令和３年 12 月定例会

番　号	議　　案　　名	結　果
議案第 77 号	天城町報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第 78 号	徳之島用水地区小水力発電建設改良基金条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第 79 号	徳之島用水地区小水力発電渇水準備基金条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第 80 号	徳之島用水地区小水力発電災害事故等準備基金条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第 81 号	天城町国民健康保険条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第 82 号	天城町過疎地域産業開発促進条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第 83 号	天城町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第 84 号	令和３年度天城町一般会計予算補正（第８号）について	原案可決
議案第 85 号	令和３年度天城町国民健康保険事業特別会計予算補正（第３号）について	原案可決
議案第 86 号	令和３年度天城町介護保険事業特別会計予算補正（第３号）について	原案可決
陳情第　９号	(旧）農政局分庁舎（現）樟南第二高等学校（男子寮）改修工事等に関する要望書	採　　択
陳情第 10 号	ウイグル等の人権問題に対し国に調査を求める意見書	採　　択
	議会運営委員会の閉会中の所掌事務の継続調査について	可　　決
	各常任委員会の閉会中の所管事務の継続調査について	可　　決
意 見 書 ２	中華人民共和国による人権侵害問題に対する調査及び抗議を求める意見書	原案可決

◆編集後記◆

令和3年は、トライアスロン大会や町民体育祭などが2年連続中止になるなど、新型コロナウイルスに翻弄された寂しい年でありましたが、町制施行六十周年という記念すべき年に、徳之島が世界自然遺産に登録されるという嬉しいニュースもありました。

昨年十二月定例会においては、9名の議員から二十七項目四十七件について、一般質問があり、それぞれの立場から熱い議論が交わされました。

本町の喫緊の課題は、何といっても少子高齢化による人口減少ではないでしょうか。鹿児島県が十一月に発表した令和2年国勢調査によると天城町の人口は5517人、5年前に比べて458人減り、減少率は7・7％と奄美十二市町村中5番目に高い。奄美群島の総人口は5年前より5866人減少しており、これは5年間で一つの町が無くなったようなものである。全国の地方の自治体も、人口減少対策に苦慮し、出生祝い金やUIターン者への助成金支給等々様々な対策を講じているようです。

我が町でも新年度から、出生祝い金の増額、給食費の無償化の実施を考えていることが一般質問で明らかになりました。これだけで人口減に歯止めがかかるとは思いませんが、町民・行政・議会が協力し合い、一丸となり、知恵を出し合えば、豊かで、住んで良かったと実感できる天城町もそう遠くはありません。町民の皆様に、より一層読みやすく、親しみやすい「議会だより」を目指して、編集委員一同頑張っていきますので今後とも宜しくお願いします。

議会だより編集委員会
委員長　奥　好生

発行／鹿児島県　天城町議会
編集／天城町議会だより編集委員会
〒 891-7612　鹿児島県大島郡天城町平土野 2691-1
TEL（0997）85-3111　FAX（0997）85-3110
http://www.yui-amagi.com/